

プロフィール

山形 俊男（やまがた としお）



海洋研究開発機構上席研究員。フランス海洋アカデミー外国人会員。1980年代にエルニーニョ現象の数理モデルを初めて提唱、その後、大循環モデルを用いた海洋変動予測システム、気候変動予測システムの開発と実用化を主導。1999年に世界各地で異常気象を起こすインド洋ダイポールモード現象を発見。海洋学と気候学における一連の業績で、米国気象学会 **Sverdrup Gold Medal**、国際海洋物理科学協会 **Prince Albert I 世メダル**や紫綬褒章など、国内外の賞を多数受賞。最近は“エルニーニョモドキ”と名づけた気候変動現象の研究を提唱するなど、国際的に活躍している。